

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	民間保育所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	押切 良雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	高まる保育需要に対応するため、引き続き民間保育所の誘致を進める必要がある。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	高まる保育需要に対応するため、引き続き民間保育所の誘致を進める必要がある。
②①に基づく取り組み結果	平成29年度開設予定の民間保育所(定員90名)の誘致を行った。運営費の補助を継続して行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	民間保育所運営事業者	意図(対象をどうするのか)	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	待機児童解消のため、民間保育所を誘致し、保育所の整備に必要な助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	保育所等の利用を希望する保護者が増加し、計画以上の利用申込みがあり、待機児童の発生が懸念される。また、新たな民間保育所等の誘致のニーズは高まっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	平成29年度開設予定の事業者を決定した。平成28年4月待機児童ゼロを達成できた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	待機児童数		21	0	0	人	業務取得
	i						
	ii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
	事業費(千円)	172,623	14	金額(千円)	内容	230,742	
	国支出金(千円)			14	選考委員報償	145,517	
	県支出金(千円)	132,623				7,664	
	市債その他(千円)	40,000				40,946	
一般財源(千円)		14				36,615	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大に対応するため、民間保育所の整備を進め、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成29年4月待機児童ゼロを達成することができたが、継続して待機児童解消を図るため民間保育所の整備が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	民間保育所の整備	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	民間保育所運営事業者の誘致	0	34	当初	184,587	14	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越				
③達成状況	完了			補正	-184,587		現年分	14
④未完了・非着手の理由				流用・充当	34			
				平成29年度への繰越額				0

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地域型保育整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	2	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	押切 良雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度以降も、地域型保育事業を整備するとともに、運営費の補助を行っていく必要がある。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	平成29年度以降も、地域型保育事業を整備する。
②①に基づく取組み結果	引き続き運営費の補助を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域型保育事業者	意図(対象をどうするのか)	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	待機児童解消を図るため、地域型保育事業1施設を公募により整備し、改修費等の助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	保育所等の利用を希望する保護者が増加し、特に3歳未満児の需要が高まっているため、新たな地域型保育事業の整備が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	地域型保育事業1施設の公募を行い、定員19名を確保し増加し、待機児童解消につなげることができた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 待機児童数	21	0	0	人 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	176,845	246,173	金額(千円)	内容	48,014
国支出金(千円)	34,541	125,003	223,717	給付費	42,666
県支出金(千円)	99,313	55,170	5,561	運営費補助金	
市債その他(千円)	30,000		16,500	整備費補助金	
一般財源(千円)	12,991	66,000			5,348

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	3歳未満児の保育需要が高く、利用申込みが増加しているため、さらなる地域型保育事業の整備が必要である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	待機児童解消のため、需要の高い3歳未満児を対象とする地域型保育事業を整備する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	地域型保育事業の整備・助成	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	地域型保育事業1ヶ所を整備し、定員19名を確保した。	278,120	278,120	当初	265,085	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越			
③達成状況	完了			補正	13,035	現年分	246,173
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
				平成29年度への繰越額		0	

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市立保育園の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	押切 良雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。
②①に基づく取組み結果	民間委託は行わず、現行どおり市直営の運営方法とし、保育サービスのあり方や費用対効果も含め、引き続き検討を行うこととした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図(対象をどうするのか)	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	入園希望児童数は増加傾向にあるとともに、多様な保育ニーズへの対応が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行った。						
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠	
	i	待機児童数	21	0	0	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	342,622	319,550	金額(千円)	内容	386,327		
国支出金(千円)	9,400	9,002	171,689	賃金	9,846		
県支出金(千円)	9,400	9,002	59,487	委託料	9,846		
市債その他(千円)	181,875				161,473		
一般財源(千円)	141,947	301,546			205,162		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大から、積極的な入所を働きかけ、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市立保育園の効率的な管理運営方法については、絶えず検討する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H27からの繰越		
		H27⇒28繰越				
③達成状況		補正		現年分		
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成29年度への繰越額					

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	保育園改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	押切 良雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	第3次実施計画に基づき事業を執行する。他園での工事を参考に工期の短縮、コストダウンを行う。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	第4次実施計画に基づき事業を執行する。他園での工事を参考に工期の短縮、コストダウンを行う。
②①に基づく取組み結果	予定した事業を遅滞なく完了した。工期の短縮に努め園への影響を最小限とした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図(対象をどうするのか)	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう施設の改修を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化に伴い長寿命化を見据えた改修を実施する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	道野辺保育園給水管改修工事、栗野保育園機械室改修工事、鎌ヶ谷保育園トイレ及び遊戯室改修工事の実施。H29実施予定の栗野保育園トイレ及び給水管改修工事の設計委託の実施。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	事業実施率(累計)		16	87	%	第3次実施計画
	ii						総事業費95,623千円
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	15,584	67,303	金額(千円)	内容	31,881		
国支出金(千円)			4,717	委託料			
県支出金(千円)			61,548	工事請負費			
市債その他(千円)	12,400	48,600			23,900		
一般財源(千円)	3,184	18,703			7,981		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	工事単価の高騰、施設老朽化に伴う実施計画外の緊急対策				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市立保育園の改修については、絶えず検討する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	改修工事及び実施設計	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	予定工事及び設計業務の実施	70,111	70,111	当初	70,111	67,303	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越				
③達成状況	完了			補正			現年分	67,303
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
				平成29年度への繰越額				0